

JOMF 派遣医師便り (2015. 4)

◆マニラ◆

マニラのトイレ事情

あなたは水派？ それとも紙派？

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

マニラに住んでいる人々は“不意の状況”の時にどのように対応しているのでしょうか。公衆衛生上も大切な問題だと思いますので考えてみましょう。

下痢を主訴に来院する患者さんは多くおられます。1日に10回以上も下痢をするとお尻が痛くなり気も減入り脱水で全身倦怠感が強くなってきます。腹痛や熱を伴えば中腰になりながら歩くのも辛くなります。このような体調でも外出せねばならず、途中で便意を催し困ったことが皆さんもあると思います。きれいな水や紙の設備のある慣れたオフィスやコンドミニアムであればまだ安心です。しかし、トイレの場所が分からない場所で「Where is the rest room?」と尋ねなければならぬような事態の時は、答えが返ってくるまでの数秒間にも冷汗が出てきます。

マニラ市内の公共施設にはトイレが備わっていますが、トイレットペーパーや清潔な水道が整っているとは限りません。皆さんは“不意の状況”の時、どう対応していますか。

聞き取り調査は2015年1月～2月に行いました。回答者のサンプリングには偏りがあるかもしれませんがそのつもりでお読みください。(フィリピン人女性6人、日本人女性3人、フィリピン人男性6人、日本人男性6人)

第1の質問) 下痢時に外出せねばならないとき、紙を持ち歩きますか？

いずれの国の女性もすべての方が「紙を持ち歩く」と答えました。しかし持っていた紙がなくなってしまう紙を買う時間も無い時はどうするか、という更なる質問には皆さん困っていました。「紙に加えて消毒用アルコールを携帯している」と答えたフィリピン人女性が1名いました。

日本人男性の3名は「紙を持って出る」と答えましたが、残り3名は「特に準備はしない、紙も持たない」と答えました。フィリピンの下痢症を甘く考えているようです。フィリピン人男性はすべて「近くのトイレに入りお尻を水で洗うので紙は特に準備しない」と答えました。

第2の質問) 公共のトイレやホテルでウォッシュレットと紙の両方が備わっている場

合にどちらを使いますか？

フィリピンの方は男女とも全て「ウオッシュレットを使う」と答えましたが、日本人男女はすべてが「紙を使う」と答えました。

第3の質問) 水洗トイレだが紙はない(手持ちの紙もない)、ウオッシュレットもない場合にどうするか?という質問をしました。

日本人は男女とも皆さん答えに困っていました。

フィリピン人女性3名は、「ハンカチを手洗いの水道水で浸してお尻を拭く」と答えました。素晴らしいアイデアだと思いました。「絶対に紙を忘れないからこの質問はありえない」と答えたフィリピン人女性が2名いました。また2名のフィリピン人男性は「水洗で流した便器を流れている水でお尻と手を洗う」と答えました。“ひょっとして”と予想していた答えでしたが、やはりこの答には驚きました。

質問の答えから見えてきたのはトイレ文化の違いです。多くのフィリピン人にとっては「紙でお尻をこすりつけるより水で洗った方が肛門に良い、心地よい、衛生的」ということです。

フィリピン人と日本人では排便後の対応に関する清潔観や心地よさに違いがあると改めて感じました。「感染症の予防」という公衆衛生面からと「心地よさや肛門粘膜保護」という二つの観点から考えてみると、文化の違いを考慮しながらアドバイスをすべきであると感じています。

今回の質問にご協力いただきました方々に感謝いたします。ありがとうございました。皆さんお体大切にしてください。